

平成29年度 白山文化ゼミナール

平成29年は白山開山1300年の記念の年となります。

白山文化ゼミナールではこの記念の年に向け、平成27年度には白山登拝の拠点であった“美濃馬場”、平成28年度は美濃禅定道と白山修験をテーマとして開講してきました。

平成29年度は白山信仰と文化の広がりをテーマの一つとして、白山麓の芸能を通じた美濃馬場と他地域との交流などを紹介する講座内容となります。

(Ⅰ) 白山麓の盆踊り—郡上の盆踊りと白山麓の芸能—

郡上における夏の風物詩として有名な郡上踊り・白鳥おどり、白鳥の拝殿踊りをテーマに、その成立の背景や郡上の盆踊りの中に取り入れられている白山麓の芸能についての講座です。講師には郡上市文化財保護審議会委員で白山麓の芸能に詳しい曾我孝司氏をお願いしております。

内容は昨年曾我孝司氏が発刊された「郡上踊りと白鳥踊り 白山麓の盆踊り」をベースに、郡上の盆踊りの中に見られる白山麓の芸能を通じ、白山文化圏という視点から郷土の芸能についてお話していただきます。

講 師： 曾我 孝司氏（郡上市文化財保護審議会委員）

日 程： 6月11日（日） 午後1時30分～

会 場： 白鳥ふれあい創造館視聴覚室

(Ⅱ) 白山信仰と芸能を通じた交流—静岡県袋井市法多山の田遊びに残る文化交流—（仮）

静岡県袋井市にある法多山尊永寺で毎年1月7日に行われる田遊祭は、室町時代より法多地域に伝わる五穀豊穡を祈願する祭礼です。

長瀧寺と尊永寺は真言ネットワークと白山権現信仰によって、密接に結びついていると言われ、長瀧白山神社の六日祭で行われる延年の演目が法多山田遊びの原型になっていると考えられています。

本講座では、白山開山を起源とする白山権現信仰を通じた人と文化の広がりの例として、法多山の田遊びと長瀧の延年との関係をテーマに開催する予定です。

講 師： 山本 義孝氏 袋井市図書館館長

日 程： 9月10日（日）

会 場： 白鳥ふれあい創造館 3階視聴覚室

(Ⅲ) 美濃馬場における芸能の起源とその広がり（仮）

現在も神事祭礼として長瀧白山神社に伝えられる延年の舞や、神社が所蔵する国の文化財となっている木造古楽面に見られるように、かつての白山中宮長瀧寺では様々な芸能が盛んに行われていたことが窺えます。

これらの芸能は、長瀧寺における法会や修験道の修行など寺院の活動の一環として行われていたものであったと言われております。こうした活動は、現在大和町の明建神社で行われている薪能「くるす桜」などに繋がるなど、市内の芸能にも少なからぬ影響を与えていると考えられます。

本講座では、白山信仰とその拠点であった白山中宮長瀧寺が郡上の芸能に与えた影響をテーマとする内容を予定しております。

講 師： 高橋 教雄氏（郡上市文化財保護審議会会長）

日 程： 11月12日（日）

会 場： 白鳥ふれあい創造館 3階視聴覚室